

令和8年度 第1回 進路説明会 資料

- 日時 令和8年7月3日（金）
15：00～15：30
(受付：14：40～)
- 場所 本校特活室（A棟1F）

次 第

0. はじめに
1. 進路先の決定に向けて
2. 公立高校の入試制度
3. 私立高校の入試制度
4. 入試について その他
5. 必要な費用と支援金
6. 進路の日程

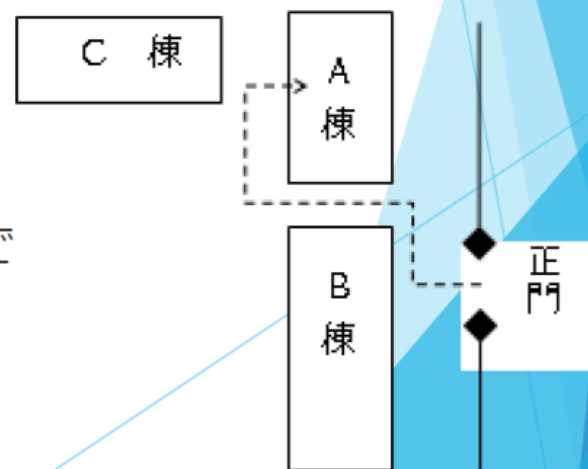
7. 質疑応答

8. 学年主任より

- ・会場は【A棟 1F特別活動室】です。

2年生昇降口 よりお入りください。

- ・15時までには授業時間となっておりますので
ご注意ください。



【0. はじめに】

進路とは

義務教育を修了



自分自身を成長させる
新しい生活の始まり

○自分の将来について考え、

目的・目標を持って**決断する**

【本日の内容】

1. 進路先の決定に向けて
2. 公立高校の入試制度
3. 私立高校の入試制度
4. 入試について その他
5. 必要な費用と支援金
6. 進路の日程

【1. 進路先の 決定に向けて】

〔1〕就職

- ハローワーク（職安）を通しての就職が望ましいが、現実的には縁故関係で決まる場合が多い。
- 就職希望者は早めに申し出てください。

〔2〕進学

- 公立（全日制、定時制、通信制）
- 私立（全日制、定時制）
- 私立 高等専修学校
- 私立 サポート校・通信制

etc・・・

〔2〕進学

進学先を決めるために…

その学校の特色は？

⇒学べる内容、学校行事、進路指導、教育目標

通学時間や制服で絞込む

部活動や進学実績などを調べる

自分の学力と比べて

⇒内申点、模試の結果

〔2〕進学

自分の目で学校を見てみよう！

- ① 合同説明会（7月、8月）
- ② 学校見学会（夏休みに多い）
- ③ 授業体験会（特に専門学科）
- ④ 学校説明会（秋に多い）

ほとんどの場合、事前予約が必要です

①以外は各高校のHPを見てください

〔2〕進学

動き出しは早めに

秋になると・・・

部活の大会、模試や検定試験
後期中間テスト（11/4～6）
説明会の日程が重なることも

【2. 公立高校 の入試制度】

〔1〕 公立高校の入試

原則として
住んでいる県の学校しか
受検できません

（1） 学力検査

1 教科 50 分、 5 教科

（2） 特色検査（一部の高校）

- ・ 面接試験
- ・ 実技検査

デッサン、スポーツ、独唱や演奏など

- ・ 自己表現検査

教科横断的な設問、スピーチ、グループ討論

(3) 調査書

評定（135点満点）＝
2年学年末の評定（45点満点）
＋
3年12月評定×2（90点満点）

※部活や委員会等の記録は
加点されません

(4) 選考基準

A : 調査書の評定

B : 学力検査

C : 特色検査

(特色検査は一部の高校のみ)

(5) 二次選考

- 定員の10%（というところが多い）
- 評価について
学力検査＋評定（主体的のみ）
＋特色検査（一部）
- 調査書の評定は主体的に
学習に取り組む態度の観点のみ

(6) その他

①二次募集について

共通選抜で定員に

満たなかった場合

その欠員分だけ募集する

⇒募集しない高校の方が多い

②公立高校合格の場合必ず進学
⇒合格発表前の
志願取消なら可能
例：受検後に私立高校に合格した場合

③県外の公立高校を受ける場合
⇒早めに担任に相談を

【3. 私立高校 の入試制度】

全日制、定時制、通信制



- 普通科進学コース
- 普通科特進コース

のように同じ学校の同じ科の中でも
様々なコースやカリキュラムがある
ことが多い

【受験方法】

受験する県に制限はありません

推薦

単願・専願

第1希望の約束

併願

・・・第2希望の約束

オープン

・・・上記の約束はない

推薦

入試相談あい

- ① 私立1校だけを受験。
合格した場合必ずその高校に入学する。
- ② 面接試験のみ、という高校が多い。
- ③ 成績、学習意欲、中学校における生活態度、欠席・遅刻・早退日数、人物等が、志望校の推薦基準に達していて、中学校長が責任を持って推薦書を書ける生徒が対象。

単願・専願

入試相談あい

- ① 私立1校だけを受験。
合格すれば必ずその高校に入学する。
- ② 推薦との違いは一般入試での受験になる（学科試験が多い）こと。
- ③ 成績などの基準があり、それを満たす生徒が対象

学科試験は高校ごとに特徴があり、出題傾向も公立のものとは比べて難しいものが多い。事前に過去問などを確認したい。

併願

入試相談あい

- ① 第1希望が別の高校で、第2希望で受験するとき。
第1希望の高校が不合格の場合、必ず入学することが条件。
- ② 成績などの基準があり、それを満たす生徒が対象。
- ③ 一般入試になるので、学科試験があることが多い。
- ④ 多くは公立高校との併願だが、私立との併願ができる高校もある

学科試験は高校ごとに特徴があり、出題傾向も公立のものとは比べて難しいものが多い。事前に過去問などを確認したい。

オープン

- ① 学科試験を受験する
- ② 推薦・単願・併願の制度を設けていない高校を受験する場合。
- ③ 推薦・単願・併願の各条件に当てはまっていないが、それでもその高校を受験したい場合

学科試験は高校ごとに特徴があり、出題傾向も公立のものとは比べて難しいものが多い。事前に過去問などを確認したい。

まとめると...

推薦

単願・専願

併願

オープン

それぞれに受験基準
(成績、欠席数、説明
会に参加している、な
ど)がある

受験基準は基本的
になし

【高校の入試制度】

〔2〕 私立高校

受験する県に制限はありません

推薦

単願・専願

併願

オープン

12月に中学校と私立高校との間で行われる**入試相談**を行う必要がある。

12月上旬に
私立受験校の決定

入試相談は必要なし

入試相談とは…

- ◆ **中学と高校の教員が、受験資格の確認をします**
- ◆ **「必ず受験する」「合格したら(併願受験は条件を満たした場合)必ず入学する必要があります。」**
- ◆ **「合格」の約束ではありません。学科試験の結果や、面接の結果、不合格になる場合もあります。**
- ◆ **成績以外の条件（人物、普段の中学校生活、遅刻・早退・欠席日数、説明会に参加しているか等）を含め受験区分における受験資格を確認します。**

推薦・併願ともに 成績の基準がある

加点制度がある高校も

⇒英検・数検・漢検

⇒説明会や体験授業への出席

⇒部活動 3 年間

説明会で
確認を！

他にも・・・

受験する県に制限はありません

高等専修学校

サポート校

高等学校の卒業
の資格が得られる
のか確認

専門的な教育・技術を学んだい、資格を得たい、自分のペースにあった教育を受けることができるなどさまざま。

【4. 入試について その他】

【受験パターン】

①公立一本

公立
第1希望



?

定時制？
二次募集？

②公立＋併願

公立
第1希望



私立併願
第2希望

③私立推薦

私立推薦
第1希望

④私立＋併願

私立一般
第1希望



私立併願
第2希望

⑤私立複数

私立一般
第1希望



私立一般
第2希望

⋮

私立併願
第〇希望

【県内公立高校全体の倍率について】

昨年度倍率 1. 15倍

志願者 43,173人

合格者 37,334人

公立高校が第1志望の場合
併願校として私立高校も考えてほしい

【5. 必要な費用 と支援金】

高校進学の際に必要な費用

【初年度に必要な金額】

授業料（私立約40万円、公立なし）

入学金（私立約20万円、公立5650円）

施設費（私立約15万、公立なし）

制服代、副教材、修学旅行費等

（私立、公立ともに10万～20万）

◎合計（私立約95万、公立約20万）

※私立は学校によってかなり差があります

ある私立高校で 初年度に支払う費用

入学金 1 9 万

施設整備費 1 9 万

授業料 4 5 万

その他 3 7 万

※制服・冷暖房費・修学旅行積立等

初年度合計約 1 2 0 万

返 還 不 要

お申込みは 高校入学後！

令和 8 年度 私立高等学校等
学 費 支 援

NEW! 令和8年度から対象を拡充しました

所得制限なく
授業料が実質無償化

最大
480,000円

住民税非課税世帯まで
入学金が実質無償化

最大
212,000円

高等学校等
就学支援金

学費補助金

高校生等
奨学給付金

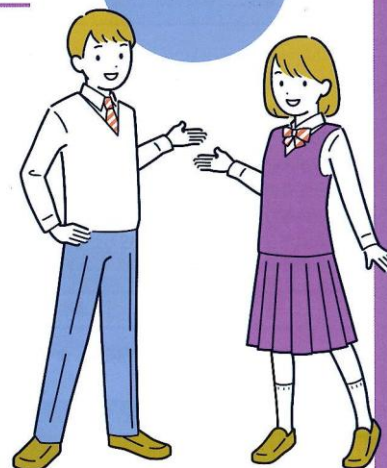
国籍や住所・学校所在地等の要件があります。

1ページ目のフローチャートで対象となる

制度をご確認ください。

制度ごとに申請が必要です。

希望される場合は必ずお手続きください。



授業料補助等の支給方法や時期は
学校により異なりますので
学校に直接お問い合わせください。

年収に関わらず、リーフレットの内容をよく、ご確認ください。

発行/お問合せ 神奈川県 福祉子どもみらい局 子どもみらい部 私学振興課 助成グループ
〒231-8588 横浜市中区日本大通1
電話:045-210-3793(直通) 受付時間:平日8:30~12:00、13:00~17:15
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/v3e/jyosei/gakuhsien/index.html>



授業料の補助です

	所得区分 (確認方法は4ページ参照)	授業料補助(年額)		入学金補助 (入学年度の1回のみ)	補助上限額
		① 高等学校等就学支援金 [新制度](国の制度)	② 学費補助金 (県の制度)		
年収目安「モデル世帯」	生活保護世帯	457,200円 通信制 337,200円	+ 22,800円 通信制 142,800円	212,000円	授業料 480,000円 入学金 212,000円
	住民税 非課税世帯				
	270万円～ 750万円未満			100,000円	授業料 480,000円 入学金 100,000円
	750万円以上				授業料 480,000円

【注意点】

- ・ 高校入学後に申請・支給
- ・ 入学時にかかる費用は原則としてすべて支払う

【6. これから の予定】

〔1〕 今日から3月までの大まかな日程

時期	内容	補足
7月3日	進路説明会	今日です
7月11～18日	三者面談	資料の確認（昨年度末の成績、今年度の募集要項）、担任と情報共有、次の面談までにすることの確認をします。
7月～	学校説明会等 参加	検討されている学校の説明会や体験授業などに参加して、志望校を絞り込んでいきます。私立高校は募集要項・願書等の配付がはじまります。
9月28日～ 10月2日	前期末 三者面談	前期の成績を見ながら、志望校について話します。志望校決定にむけて見通しを立てていきます。

〔1〕 今日から3月までの大まかな日程

時期	内容	補足
10月中旬 ～ 11月中旬	家庭での志望校 絞り込み 進路説明会	このあたりまでに、検討されている学校の説明会等に必ず参加して、志望校について家庭で話し合いを進めます。受験区分・学科・コース等についても検討します。 進路用成績が配付された際、志望校を速やかに決めるための検討をする期間でもあります。 私立高校は募集要項を入手してください。 進路説明会で進路決定までの流れを確認します。
11月下旬 ～ 12月上旬	進路用成績配付 進路面談	進路面談前に進路用成績を伝えます。面談前に家庭で話し合いをしていただき、面談で志望校について確認をします。
12月	私立高校 入試相談 WEB出願準備	私立高校は入試相談を行い、受験資格の確認をします。入試相談後の変更・取消はできません。 WEB出願のための事前登録等、出願準備がはじまる私立高校があります。 公立の出願サイトが稼働します（予定）。

【12月進路面談】

11月30日(月)～12月4日(金)

- ・最後の3者面談
- ・入試についての確認の場合
- ・私立高校を受験する場合
この面談で決定
(オープンを除く)

〔1〕 今日から3月までの大まかな日程

時期	内容	補足
1 月	私立推薦入試 私立併願・ 一般入試出願 公立共通選抜 出願	私立推薦入試の出願・選考・発表（・手続き） 私立併願・一般入試の出願はWEBで入力した後、 印刷したものを郵送するという場合が多いです。 公立共通選抜の出願期間です（WEB出願）。
2 月	私立併願・ 一般入試 公立共通選抜 試験・発表	私立併願・一般入試の選考・発表・手続き 私立併願・一般入試の試験が行われ、合否の発表 があります。 公立共通選抜試験が行われ、発表も行われます。
3 月	公立共通選抜 手続き 二次募集 定通分割選抜	公立の二次募集、定通分割選抜が行われます。

〔2〕 夏休みに取り組んでおいてほしいこと

進路先を考える

できるだけ具体名
を挙げましょう！

**希望する学校を
複数挙げておく**

第1希望が必ず通
るわけではありません。
あらかじめ考え
ておくとなにかあった
ときにスムーズに
進みます

説明会等に参加

できるだけ参加し
ましょう

〔3〕 学校説明会に参加するときの心構え

- ◆ 事前の日程確認
- ◆ 身だしなみに注意
 - 服装・・・制服・ベルト・靴下・靴
スカート丈の仕立て直し
 - 髪型
 - 自転車移動はしない
- ◆ 記録を残す(もらった名刺は保管を)
- ◆ 保護者同伴が望ましい(場合による)

〔4〕今、できること

- ◆ 授業を大切に、提出課題への取り組み、学習時間を増やす（塾以外でも）
- ◆ 生活面の見つめ直し（服装・言葉遣い）
- ◆ 家庭での会話（将来について話し合う）

【その他の確認事項】

- ◆ 学校説明会等が、予約制・先着順になった学校が増えています。
- ◆ 公立共通選抜はWEB出願です。
- ◆ 私立高校、基準・選考方法が昨年度までと変更される可能性があります。
- ◆ 私立高校でも、エントリーシート、小論文、意見文など自己表現の導入が増えています。

【ご家庭へのお願い】

- ◆ 子どもの気持ちの変化をくみ取りながら話し合いを進めてください。
- ◆ 面談では、志望校が不合格であったときのお話もさせていただきます。
- ◆ 面談期の予定の調整をお願いします。
- ◆ ご家庭の通信環境を確認してください。
HP等での情報収集も随時お願いします。

2月までほぼ毎週発行します

進路通信

第8号

発行日

6/9

令和9年度公立高等学校入学者選抜 選考基準及び特色検査の概要について

長い見出しとなりましたが、要は来年2月に実施される公立入試の選考基準のことです。6月5日付で神奈川県ホームページに掲載されています。次のような内容です。

- ・ 学力検査の教科
⇒ほとんどが5教科ですが、3教科という学校もあります
- ・ 特色検査の有無と内容
⇒一部の高校のみ面接試験や実技試験、自己表現検査（筆記が多い）があります
- ・ 比率
⇒中学校の評定（いわゆる内申点）、当日の学力検査、特色検査（一部のみ）をどの割合でみるか
（例）評定：学力検査＝4：6
- ・ 重点化
⇒評定や学力検査で一部の教科の点数を1.5倍や2倍にして合否を判断します
（例）橘高校国際科は英語の評定と学力検査を2倍にして合否を判断する

よくある質問について その3

第3回となりますが今回もよくある質問にお答えしていきます

Q1. おすすめの学校はありますか

学校から、あなたにおすすめする高校はここです、とお伝えすることはありません。ただし、英語について学んで留学とかしたい（⇒国際科）、被服の勉強がしたい（⇒生活科学科）、プログラミングについて学びたい（⇒情報工学科）、ハンドボールの強い高校に行きたい（⇒高津高校など）といったように具体的な希望に対して返答することはできるかもしれません。自分がやりたいことを考え、それができる高校を探していきましょう。

Q2. 今の成績で合格できる高校を教えてください

こちら、この高校なら合格できる、と断言できることはありません。年によって倍率も変わりますし、そもそも当日の筆記テストでどれくらい点数が取れるか、というのを判断するのは難しいです。現状では2学年末の評定を参考に考えていく人が多いかと思います。心配な人は外部の模試を受けてもらえると学力が分かっていると思います。

気になる高校のHPをチェックしよう！

進路先の情報を知ることが進路の第一歩となりますが、高校の情報として一番身近なものがホームページとなります。その高校の特色や様子も知れますし、私立高校ではほとんどの高校で今年度の説明会や学校見学会の予定が掲載されています。公立高校でも一部（特に市立高校）の高校は学校見学会や説明会の日程が掲載されたり、早いところでは今週から予約が始まっています。テストが終わったら名前の知っている高校だけでもホームページを見てみるといいかもしれません。

**本日はありがとうございました。
ご不明な点がありましたら遠慮なく
お尋ねください。**

